


令和5年度 岡山県子供の読書活動推進協議会 講演
令和5(2023)年7月27日 於：岡山県立図書館

子どもと本を結ぶ

～子供の発達と読書について考える～

大正大学
教職支援オフィス(教職課程)
附属図書館長/図書館情報メディア部長
教授 稲井 達也
博士(学術)
t_inai@mail.tais.ac.jp

自己紹介



- 1962(昭和37)年 東京都文京区出身 生家は古書店(現在は廃業)
- 都立全寮制男子高校(9年間)、都立単位制普通科高校(4年間)
- 教育庁指導部指導企画課(1年間)
- 都立普通科高校(4年間)
- 都立中等教育学校開設準備室(2年間)
- 都立中等教育学校(6年間)
- 日本女子体育大学(8年間)
- 2020年4月より大正大学教授、附属図書館長(図書館情報メディア部長兼務)
- 早稲田大学教育学部非常勤講師(2022年度は大学院も担当)
- 読売教育賞国語教育部門優秀賞、学校図書館賞受賞
- 専門分野は、国語科教育(読書指導)、学校図書館(探究学習)、NIE

最近の研究 研究代表者

- 科学研究費補助金・基盤研究(C) 2019年度～2023年度
「戦後の読書指導史に関する研究」
- 科学研究費補助金・基盤研究(C) 2014年度～2016年度
「言語運用能力の基盤形成を支援する新聞活用に関する研究」

学会活動・社会的な活動

- 日本NIE学会 常任理事
- 日本図書館情報学会編集委員(2021～2023年)
- 三省堂 高等学校国語教科書 編集委員(『精選現代の国語』『精選論理国語』)
- 公益社団法人全国学校図書館協議会 事務局 参事(非常勤)
- 東京都豊島区図書館協議会・委員
- 都立高校・中等教育学校9校で学校運営連絡協議会協議員・評価委員
- 世田谷区立給田小学校で学校関係者評価委員会 委員長



2017年12月刊



2019年1月刊

学事出版刊



2019年5月/学事出版刊



2016年11月/学文社刊



2019年1月/東洋館出版刊



2019年12月/学事出版刊

社会に開かれた教育課程を 実現する学校づくり
具体化のためのテーマ別実践事例15
貝ノ瀬 道 (監修)
稲井 達也・伊東 哲・吉田 和夫 (編著)

2018年6月刊
学事出版刊

「学校ver.3.0」時代の スクールマネジメント
高校経営9つの視点と15の実践
小松 郁夫 監修 / 稲井 達也 編著

2020年8月刊
学事出版刊

学び合い育ち合う 学校図書館づくり
新しい時代の 学びのリノベーション
大沼 大智 監修
稲井 達也 著

2020年10月刊
学事出版刊

子どもの学びが 充実する読書活動 15の指導法
稲井 達也 著

2020年6月刊
学事出版刊

著書 編著

これならできる! 楽しい読書活動
アニメーション、ヒプノオパトル、ブックトークが 気軽に実践するための事例集
高田 大 監修 / 稲井 達也 編著

学事出版刊 3刷

授業で活用する 学校図書館
中学校・専攻校の学びを促す実践事例
稲井 達也 編著

全国学校図書館協議会刊

著書 分担執筆

世界から読む漱石 『こころ』
アンジェラ・ユー 小林 幸夫 長尾 直哉 上智大学研究機構 編

勉誠出版刊

学校図書館 必携
稲井 達也 監修
全国学校図書館協議会 監修

悠光堂刊

著書 分担翻訳

IFLA 学校図書館ガイドラインと グローバル化する学校図書館
GLOBAL ACTION ON SCHOOL LIBRARY GUIDELINES
International Federation of Library Associations and Institutions

第3部 学校図書館の実践を変えるガイドラインの利用 「7.ラーニングコモンズ-サウスカロライナの学校制度における実施計画より-」を翻訳

学文社/2018年10月刊 / 分担執筆
『言語活動中心 国語概説: 小学校教師を目指す人のために』

言語活動中心 国語概説
—小学校教師を目指す人のために—
文章のいろいろ 岩崎 淳 水下のさし 中村 敦雄 山本 和也 (監修)
発展 ことばの理解
ことばのまより 国語

学文社

『はじめての高校探究』 / 2023年2月刊, 東洋館出版社

稲井達也

探究学習は、高校でも本当に必要なの？

これまでの授業と何が違う？

総合の単元はどうつくればいい？

教科の授業でも探究学習はできる？

どうすれば生徒は主体性を発揮する？

この1冊で、学習者主体の探究学習のつくり方がわかる！

はじめての高校探究

東洋館出版社

私立大学図書館協会全国研究大会(本年9月1日開催) 大会記念出版

「学び」と「集い」の図書館に挑む

大学図書館の未来と創造

大正大学附属図書館 著

大正大学出版会

大正大学出版会より9月初旬に刊行予定



大学公式YOUTUBEで公開中です

[HTTPS://WWW.YOUTUBE.COM/WATCH?V=sZu0D-UM0Uw](https://www.youtube.com/watch?v=sZu0D-UM0Uw)

2022(令和4)年11月5日(土)
「大正大学附属図書館×豊島区立図書館
にぎやかな図書館祭(フェス)」
にぎやかな図書館フォーラム」

10/3(月) - 12/23(金) 2022

萩原朔太郎の没後80年企画展
「萩原朔太郎大全2022 IN 大正大学」を開催

2022年10月3日(月) ~ 12月23日(金)

特別展
萩原朔太郎
～周囲の人々を通して～

「生きた詩人、死んだ詩人、生きた詩人の人々である事は、誰かを知りたがる事ではない。」

萩原朔太郎大全 2022 in 大正大学

開催期間 2022年10月3日(月)～12月23日(金) 10時～18時(入館無料)

開催場所 大正大学 本館 3階 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館

協賛 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館

主催 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館

共催 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館 大正大学附属図書館

片山善博教授による基調講演の後に開催



大学公式YOUTUBEで公開中です

[HTTPS://WWW.YOUTUBE.COM/WATCH?V=D-HLLOTJL24](https://www.youtube.com/watch?v=D-HLLOTJL24)

2022(令和4)年11月16日(水)
萩原朔太郎大全2022 IN 大正大学
(萩原朔太郎～周囲の人々を通して～)
「萩原朔太郎大全2022 IN 大正大学」特別イベント

シンポジウム「学校司書の社会的地位の向上をめざして」
2023年5月27日開催

主催：文字・活字文化振興機構・全国学校図書館協議会など
共催：学校図書館職員連盟・大正大学附属図書館
片山善博教授による基調講演の後に開催

大正大学附属図書館内の礼拝堂で開催
写真：公益財団法人文字・活字文化振興機構ウェブサイト 近々に動画配信予定

大正大学附属図書館PR動画

ぜひご視聴ください
広報部の若手スタッフが制作しました

[HTTPS://WWW.YOUTUBE.COM/WATCH?V=TW7HEURCT9w](https://www.youtube.com/watch?v=tw7HEURCT9w)

本日の内容

- 1.ポスト・コロナに生きる私たち
- 2.読書活動の現在と今後
- 3.「令和4年度子供の読書活動推進に関する有識者会議」の議論から
4. 子供の変化と読書環境

1.ポスト・コロナに生きる私たち

私たちはどういう時代に生きているか

- ・デジタル化のなかで取り残される人びと
- ・超少子高齢化社会
- ・格差社会の拡大と人びとの分断
- ・孤立する人びと
- ・不寛容
- ・生きづらさ

ポスト・コロナの中での再生

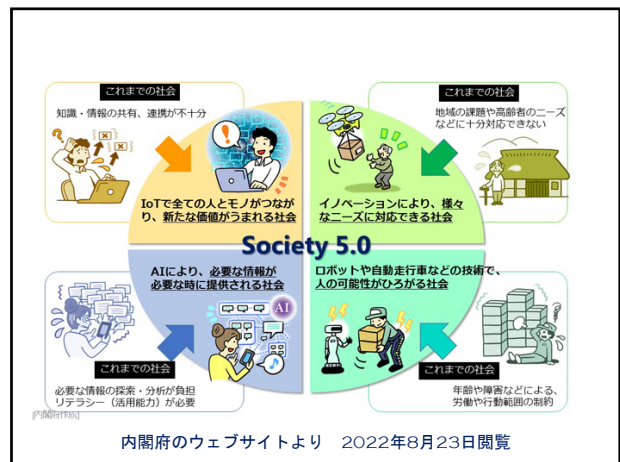
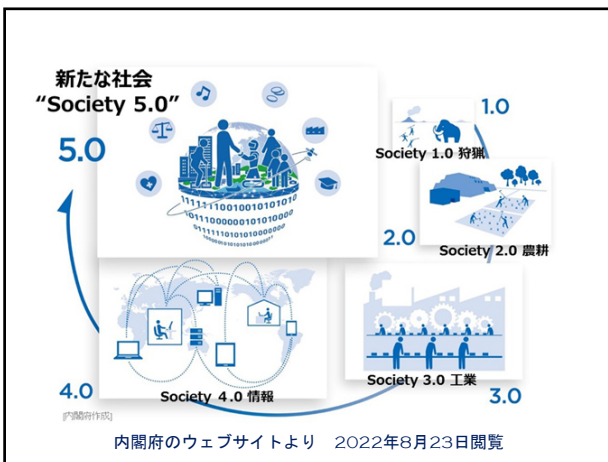
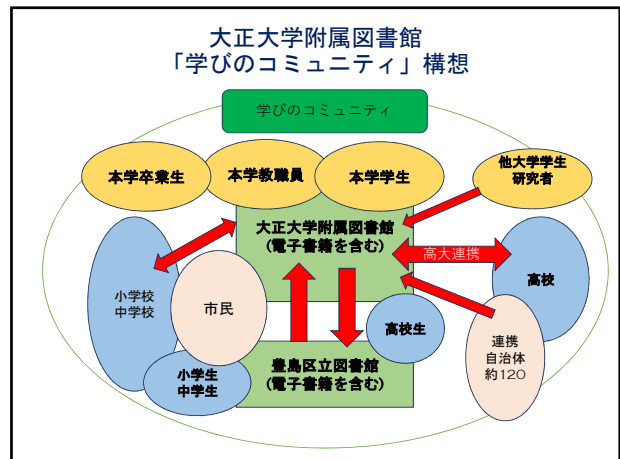
- ・つながりの再生へ
- ・「集い合い」と「学び合い」の「場」の再生へ
- ・「自助」から「新しい共生社会」へ
- ・「不寛容」から「共感」へ
- ・知識を再構成し、生き抜く力へ

これからの図書館の在り方

- ・図書館は「サード・プレイス」
- ・図書館は「学びのコミュニティ」
- ・図書館は多様な人びとが合理的配慮のもとで、安心して出会い、学び合い、語り合う場所

大正大学附属図書館のめざす図書館像

- ・学生相互に、あるいは様々な人々が交流し、学び合うことを通して、新たな文化を創造するとともに、一人ひとりの物語を生み人生を輝きのあるものにする図書館
- ・多様性を尊重する社会の実現に向けて、お互いに学び合い、さまざまな価値観を共有・共感し、豊かな知性・感性を育むことのできる図書館
- ・新たな共生社会の実現に向けて、地域社会の交流拠点となり豊かな学び合いを通して、お互いの思いや願いを共有できる図書館



2.読書活動の現在と今後

- 読書や図書館に関する法律**
- ・2001(平成13)年
子どもの読書活動の推進に関する法律
 - ・2005(平成17)年
文字・活字文化振興法
 - ・2007(平成19)年
視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律
 - ・2013(平成25)年
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

現在の読書活動

- ・多様な読書活動が普及した
- ・教科の学びと連携しつつある
- ・高校でも高校生の発達段階に適した読書活動が普及し始めた
- ・本を読まない児童生徒への対応が十分ではない
- ・デジタル化の対応が遅れている
- ・特別支援教育への支援は十分とはいえない

今後の読書活動

- ・教科等の学びに生きる読書指導の充実
- ・組織的なカリキュラム・マネジメントの実現
- ・地域の公共図書館等と連携した読書環境づくり
- ・デジタル社会に対応した読書活動の取り組み
- ・多様な子供たちの読書機会の提供
(アクセシブルな電子書籍・書籍等)
- ・子供主体による読書活動の取り組み

社会的排除と社会的包摂

- ・社会的排除
 - ・子どもの貧困
日本は、絶対的貧困(飢餓などの命に関わる貧困)ではなく、相対的貧困(国の文化水準、生活水準と比較して困窮した状態)
 - ・居場所がない
 - ・コロナ禍での不登校の増加
- ↓
- ・社会的包摂の観点からの図書館の意義
 - ・他者とつながる場所
 - ・お互いの存在価値を認め合う場所
 - ・「小さな」居場所の保障
 - ・多様性を尊重する場所



ブックサンタ 2022
あなたが選んだ本を、
サンタクロースが
全国の子どもたちに
届けます。

本を贈る
ブックサンタの
取り組み

主催
NPO法人
チャリティーサンタ
ブックサンタ運営事務局

2022年度のウェブサイト

参加方法 プロジェクト概要 書店での参加方法
よくある質問 参加書店一覧 親からの声

最新ニュース

5/29 News ブックサンタ2023の参加書店を受付開始しました。締切: 2023/7/28
4/1 News ブックサンタについてのプレゼンテーションを公開しました。
1/7 News 最終的に【75,813冊※】の寄付が集まりました。 ※前年から約4万冊増加

ブックスタート

- ・NPOブックスタート

[HTTPS://WWW.BOOKSTART.OR.JP](https://www.bookstart.or.jp)

<ブックスタートとは>

あたたかい絵本のひとときを、すべての赤ちゃんに。
ブックスタートは、〇歳児健診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

(ブックスタート・ウェブサイトより)

3. 「令和4年度子供の読書活動推進に関する有識者会議」の議論から

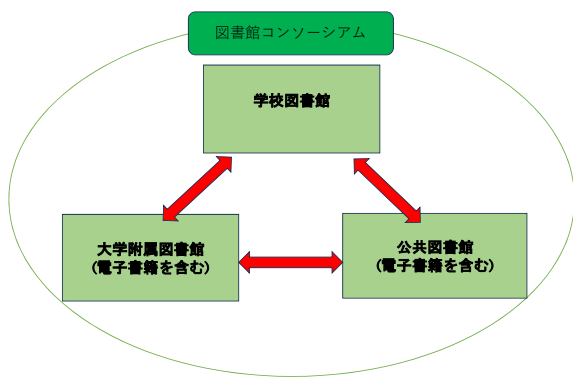
有識者会議の検討事項

- (1)発達段階に応じた読書習慣の形成
- (2)高校生が読書をするようになるきっかけづくり
- (3)読書とICT(情報通信技術)のベストミックス
- (4)その他子供の読書活動推進のために検討することが必要な事項

委員で議論したことから

- ・読書をする子供としない子供の格差
- ・電子書籍の利用と発達段階
- ・ICT活用に関する活用の視点の違い
- ・学校図書館と公共図書館とのネットワーク化
- ・障がいのある子どもに対する合理的配慮

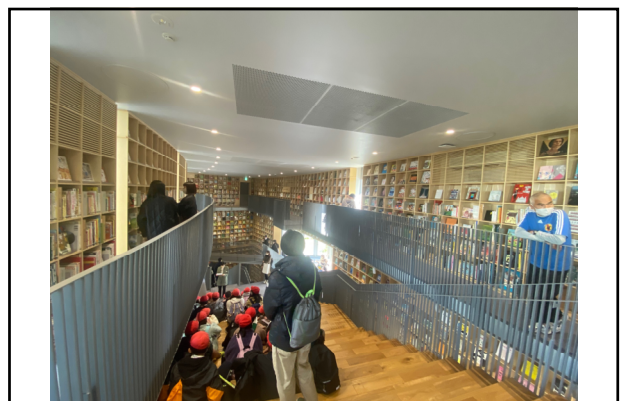
学校と公共図書館等との連携による読書環境づくり



山形県東根市立図書館
中高生向けの学習室「ティーンズコーナー」を設置 2022年7月



こども本の森 神戸 兵庫県神戸市
2022年12月



こども本の森 中之島 大阪府大阪市
校外学習として大阪市内の小学校が見学 2022年12月

阪本一郎の読書の発達段階説

1. 読書入門期
 - ① 読書レディネス期 5歳～6歳半
 - ② 読書開始期 小学1年1学期の終わり頃
2. 初步読書期
 - ① 独立読書開始期 小学1年2学期頃
 - ② 読書習慣形成期 小学1年終わり頃～2年はじめ頃
 - ③ 基礎読書力成熟期 小学2年半ば頃～3年終わり頃
3. 展開読書期
 - ① 読書独立期 小学3年終わり～5年半ば頃
 - ② 読書分化期 小学5年終わり頃～中学2年初め頃

阪本一郎の読書の発達段階説

4. 成熟読書期
 - ① 読書統一期 中学2年～高校1年
 - ② 高級読書期 高校2年以降

・メディアの発達により、坂本の読書発達段階説は現状と乖離しつつある

・個人差が見られ、差が広がっている

・成熟読書期が後ろにずれつつある

ヤングアダルト

YOUNG ADULT (ヤングアダルト) 略してYA (ワイエー) を知っていますか? アメリカで13歳から19歳の世代の人たちに対して使われている言葉で、「若いおとな」という意味です。この年代は、心の揺れ動きがもっとも激しい時期。まさに「読書」がいちばん必要なときといえるでしょう。本を読みきっかけはいろいろです。YAの世代の人たちであれば、先生や家族から面白いよと教えてもらうこともあるだろうし、友達から口コミで伝わってくることもあるでしょう。図書館の人にすすめられることもあるかもしれません。一冊の本との出会いはきっと、それからの人生に大きな影響をあたえてくれることでしょう。そんな出会いの場を、より多く作ろうと取り組んでいるのがYA出版会です。

(YA出版会ウェブサイトより)

デジタル・ネイティブ
「Z世代」の特徴

- ・承認欲求が強い
- ・SNSで頻繁につながっている
- ・集団の前で褒められることを嫌う
- ・多様性への理解がある
- ・社会貢献への意識を持っている

下さい 金間大介 2022年3月刊

皆の前でほめないで 先生、どうか 2023年刊

承認をめぐる病 斎藤環 2011年刊行

デジタル・ネイティブ
「Z世代」の情報活用

- ・タイム・パフォーマンス重視
- ・情報はSNSから入手
- ・発信が得意で「映える」発信が大切
- ・倍速視聴は当たり前
- ・テレビは、ほとんど見ないでTVERで後から倍速視聴
- ・新聞を読まないのはコスバが悪いから
- ・昭和の楽曲はかえって新鮮なのでときどき聴く

Z世代の特徴をとらえた読書指導

<読書>

- ・積極的に本の情報を発信すること
- ・動画等のメディアを活用すること
- ・読書活動の楽しさを経験させること
- ・本を読む楽しさや面白さを共有すること
- ・本との新たな出会いの場を演出すること



<情報活用>

- ・複数の情報を比較して取捨選択すること
- ・メディアの特性を理解すること
- ・情報モラルへの理解を深めること

これからの読書活動

- ①読書指導の一層の充実
- ②探究学習への積極的な対応
- ③児童生徒への合理的配慮の必要性

①読書指導の一層の充実

- ・教科で、本の選び方や本の読み方などの読書方法について学ぶ単元が必要
- ・「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた学校図書館の利活用が必要
- ・「社会に開かれた教育課程の実現」の理念を踏まえて、公共図書館等と連携・協働した教育資源の積極的な活用が必要

横浜市立緑園義務教育学校(小中一貫教育校)
学校図書館での小学1年生の国語の授業 単元「本の借り方」



2023年5月17日

他者との対話的な読書活動を通して、
新たな気づきを促し、思考を深める



岐阜県加茂郡白川町立白川小学校にて 2017年3月

学校図書館では、教科と連携し、新書の読書を推奨



別置用の専用テーブルを複数台常備
東京都立戸山高等学校 文科省SSH指定校 2018年10月
医学部進学のための進学指導も整備

学校図書館では新書だけではなく
読みやすい本とともに別置



熊本県立天草高等学校 文科省SSH指定校 2018年2月

②探究学習への積極的な対応

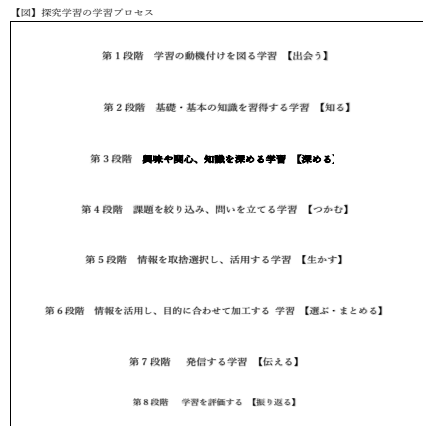
- ・教科や総合的な学習の時間(高校では「総合的な探究の時間」)で、探究課題(問い)の解決を図る探究学習を推進する
- ・適切に学校図書館の図書資料を活用して学習を進める
- ・探究学習に資する情報活用能力の育成を図る
- ・ICT活用を推進する

2018年告示学習指導要領

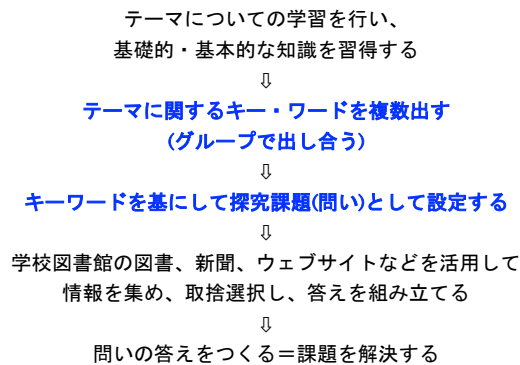
- ・ **小学校総則**
- ・ 第1章 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

(7) 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かす**とともに、児童の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること。また、地域の図書館や博物館、美術館、劇場、音楽堂等の施設の活用を積極的に図り、資料を活用した情報の収集や鑑賞等の学習活動を充実すること。

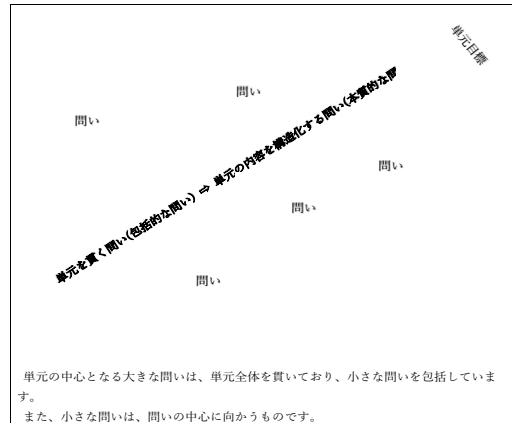
探究学習の
学習プロセス



探究課題のつくりかた(例)



【教科の探究学習の「問い」のイメージ】





東京都豊島区立池袋第一小学校

新校舎では、学校図書館は「学習情報センター」化

学校図書館内に1学級で授業ができる教室スペースを設置

2022年9月17日

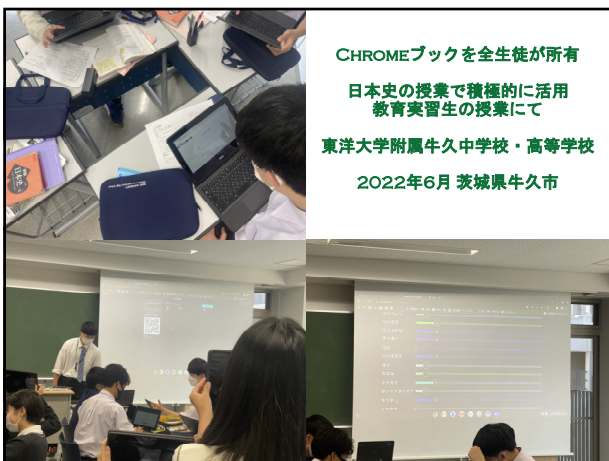
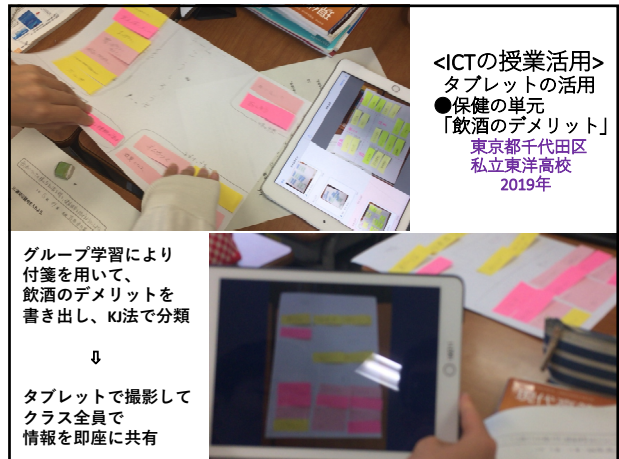
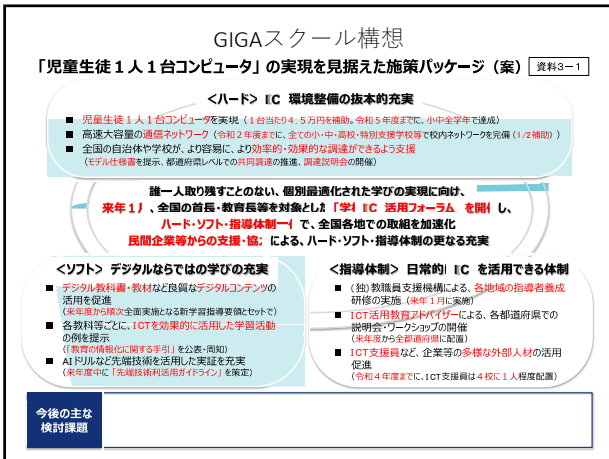
1人1台端末の影響

<利点>

- ・ 個別最適な学びを実現させつつある
- ・ 教育環境の公平性を担保している
- ・ 校務のDX化を促進させつつある

<課題>

- ・ 教員のICT活用能力の格差が埋まらない
- ・ 何でも安易にインターネットで調べさせる
- ・ 図書資料を使わないで「調べたこと」にしてしまう



③児童生徒への合理的配慮の必要性

- ・ 合理的配慮の啓発を進める
- ・ 障がいのある児童生徒に対応したメディアを整備する
- ・ 学校図書館と公共図書館等で連携し、地域で包括的に取り組む

<法律>

- ・ (平成19)年
視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律
- ・ (平成25)年
障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

読書バリアフリー法
啓発パンフレット

誰もが読書ができる
社会を目指して
読書のカギを握る「読書バリアフリー法」

文部科学省 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

学校図書館等における読書バリアフリー
コンソーシアム

事務局：東京大学先端科学技術研究センター近藤武夫研究室

学校図書館等における読書バリアフリー
コンソーシアム

事務局：東京大学先端科学技術研究センター近藤武夫研究室

進めよう、豊かな読書活動！
学校図書館等における読書バリアフリーコンソーシアム

https://accessreading.org/conso/
2023年7月25日閲覧

読書バリアフリー法

図書館で利用できるサービス
(文部科学省ウェブサイトより転載)

公立図書館
貸出・郵送サービス
さまざまな種類の本の貸出を行っています。
点字・録音図書や雑誌は、一部の障害者に無料で郵送できます。本を自宅に郵送してくれる図書館もあります。

対面朗読サービス
図書館の本や持参した本を、朗読者が直接読み上げます。
短いものは電話で対応してくれる図書館もあります。

機器の利用
読書を支援する機器を利用できる図書館もあります。
機器の使い方も教えてくれます。
●文字を拡大して表示する「拡大読書器」
●音声DAISYなどを再生するための「DAISY再生機」

点字図書
図書や雑誌の録音・点訳・貸出を中心に、目の見えにくい方に向けた相談も受け付けています。
福祉サービスや施設の紹介、視覚障害者用機器の使用法の説明などです。
蔵書にない印刷物の録音・点訳、対面朗読サービス、点訳・音訳をする人の養成も行っています。

図書館で利用できるさまざまな本
(文部科学省ウェブサイトより転載)

大活字本
目の見えにくい方にも読みやすいように、大きな文字で書かれています。

点字図書
点字に翻訳(点訳)された本です。点を使って図や絵を表したものを「点図」といいます。
点字と点図を透明なシートに打って、絵本に貼った「点訳絵本」もあります。

LLブック
やさしい言葉で分かりやすく書かれた本です。
ピクトグラム(絵文字)や写真・図を使って理解を助けています。

布の絵本・さわる絵本
布・革・毛糸などを用いて作られた絵本で、触って絵の形が分かるようになっています。
ボタンをとめたり、ひもを通す仕掛けがあり、楽しみながら読むことができます。

図書館で利用できるさまざまな本
(文部科学省ウェブサイトより転載)

DAISY※2
※2「DIGITAL ACCESSIBLE INFORMATION SYSTEM」(アクセシブルな情報システム)の略称です。
デジタル録音図書の国際標準規格です。
目次から、読みたい見出しやページに移動することができます。

音声DAISY
図書や雑誌の内容を録音して音声にしたものです。
図や写真の説明も入っています。
目次やページ情報が収録されているので、本をめくるように読むことができます。
音声の速さも変えることができます。

マルチメディアDAISY
文字や画像をハイライトしながら、その部分の音声と一緒に読むことができます。
パソコンやタブレットなどを使って再生します。
文字の大きさや背景の色も変えることができます。

図書館で利用できるさまざまな本
(文部科学省ウェブサイトより転載)

電子書籍
目の見えにくい方などに配慮した電子書籍は、パソコン・スマートフォン・専用機器を使って、目次から読みたいページに移動したり、文字の大きさ・色・フォント・背景の色を変えることができます。

内容を音声で聴くことができる電子書籍も増えています。

参考資料

・文部科学省「令和4年度子供の読書活動推進に関する有識者会議」に委員として参加しました

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shougai/045/index.htm

・読書活動についての私の基本的な考え方は、東京都教育委員会の「東京都子供の読書活動」に関する専用ウェブサイトに掲載しています

「探究的な学習を支える読書指導の充実に向けて」

<http://www.kodomo-dokusho.metro.tokyo.jp/susume/dokushoshido/>

補足資料

大正大学附属図書館のご紹介

フロアごとに役割を階層化



1階 地域住民と学生の集い合い語り合う場所
本の街とカフェ～サードプレイスとしての大学図書館～



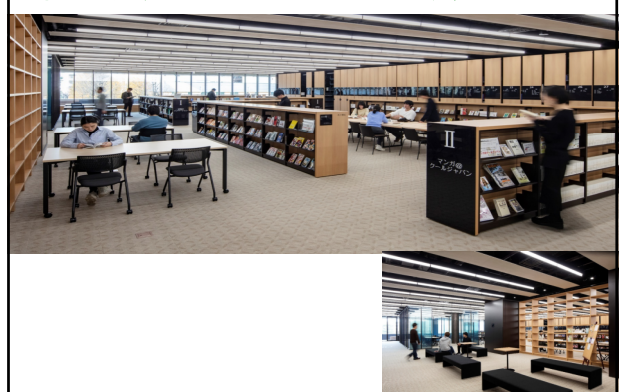
◆2階 本の路

本に誘い、
学生が思い思いに
ゆったりと
ひと時を過ごす場



◆3階 本の閃

本と出会い、さまざまなひらめきを生み出す場



3階 本の響A ◆学問のイノベーション

テーマ性のある配架により、本の豊かな世界に入り込み、充実した時間を過ごすスペース

これからの社会では、人々が共に支え合う「共生社会」の実現し、お互いの違いを認め合う「多様性」社会が求められています。例えばSDGsのように、切実な社会の課題を解決するという視点から、学問の領域を超えてさまざまな書籍を集約し、本の見せ方を工夫して配架しています。



3階 本の響B ◆マンガ@クールジャパン

テーマ性のある配架により、本の豊かな世界に入り込み、充実した時間を過ごすスペース

マンガは、海外では日本の文化や歴史を知る方法、さらには芸術分野として広がっています。

マンガを、娯楽としてだけではなく、文化・芸術・学問として捉え、マンガの変遷や、世界のマンガなど、さまざまな視点から配架を行っています

マンガの聖地・豊島区椎名町にあるトキワ荘に住んだ漫画家たちの作品も取り揃えています



本の響C ◆本の道しるべ

3階から4階に設置
テーマ性のある配架により、本の豊かな世界に入り込み、充実した時間を過ごすスペース

講義や実習だけではなく、図書館からもたくさんの学びが生まれます。本との出会いは、1冊手に取った本から無限大に広がっていきます。図書館職員が各学科の学びに関連した資料を分類番号ではなく、関連するテーマごとに配架しています



本の響D ◆文学者 江藤淳 考古学者 齋藤忠の書齋

3階から4階に設置
テーマ性のある配架により、本の豊かな世界に入り込み、充実した時間を過ごすスペース

日本を代表する文芸評論家の江藤淳氏と、日本の考古学分野に多くの功績を残された齋藤忠氏は、最後本学で教鞭をとられました

本の響Dは本学にご恵贈いただいた資料の一部を書齋として表現しています



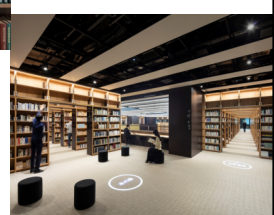
◆3階から4階へゆるやかに続く本の小径

学修・研究を深めるため
静かに思索する場



◆4階 本の森

静かな環境の中で
学問に向きあう場



3階フリースペースで多様なガイダンスを実施

先生方の中でも評価いただき、口コミ効果も

2～4年生へのガイダンスは授業やゼミ単位で教員の希望をとって実施。教員や学生のニーズに即した内容を実現すべく、図書館長と職員で話し合いながらより良いものになるように工夫



図書館独自講座 「学びのコミュニティ」の様子

参考資料

全国学校図書館協議会PR動画
(制作:大正大学)

YouTube 限定公開中です
本学広報部の若手スタッフが制作しました

<https://youtu.be/gp28xERNQcU>